

治安・安全情報

(リヨン及びローヌアルプ州)

平成25年(2013年)12月
在リヨン出張駐在官事務所

目次

1. 今月の安全・防犯のポイント
2. 在留邦人の被害事例
3. 地区別治安情報収集結果(新聞 Le Progrès 紙より)
4. 今月リヨン及びローヌアルプ州で発生した事件(新聞 Le Progrès 紙より)
 - ① 窃盗犯罪事件
 - ② 粗暴犯罪事件
 - ③ 凶悪犯罪事件
 - ④ 知能犯罪事件
 - ⑤ その他の事件
 - ⑥ テロなどに関する一般治安情報
5. 今月の出来事

1. 今月の安全・防犯のポイント

VILLEURBANNE 市警察ではフラッシュボールの使用を決定

Villeurbanne 市長は、市内でのスクーターやミニバイクなどの交通検問や、アルコールや麻薬取締の際に、話し合いや仲裁で尋問をする際、手に負えなくなった者を威嚇するため、市の警察ではフラッシュボールというゴム弾銃を使用することを決定したとのこと。

また、Villeurbanne 市の警察では、この年末年始の時期(1月15日まで)には市の中心街のGratte-ciel 地区の商店街などを、制服や私服の警官達にパトロールさせて、煙草販売店やバーなど特に注意して監視していくとのこと。

麻薬・覚醒剤の密売

ローヌ県では、2013年だけで計6000人以上が麻薬・覚醒剤密売の容疑で逮捕されている。12月中旬にはリヨン市第8区のMermoz 地区で警察官150人を動員して一斉捜査が行われた結果、大麻などの密売網が明らかにされ、16歳から20歳の密売関係者10人が逮捕された。ドゥートル・ローヌ県警部長は、こういった地域の若者の密売を見て見ぬふりをするのではなく、地域の住民がモラルを持って対応し、警察(17)に通報するなどして欲しいと市民に呼びかけている。

少女達の犯罪

10月・11月には、18歳のVaulx-en Velin 市在住の少女2人が、刃物で若い女性を脅して携帯電話などを奪い取る事件が数回起きている。確かな統計数字はでないが、リヨンの警察によると、最近若者の犯罪は益々若年化して、以前は万引きなどに留まっていた少女達の犯罪が、恐喝など暴力的な犯罪も見られるようになってきているらしいが、その数はまだ少数派とのこと。これらの少女達は、1人では行動せず、必ず2-3人のグループで、自分達より若い少年か、女性達を狙って行動する傾向があるとのこと。

空き巣犯罪件数増加

ローヌ県警によると、ローヌ県では今年空き巣犯罪件数は9883件に上り、昨年に比べて29%の増加をしているとのこと、また、商店や工場などでの盗難被害も1277件のぼり、23パーセントの増加をみせており、またフランス全土でも同様に近年に無い高い増加率となっている。リヨンの商工会議所では、ホームページに警備予防対策などの情報を掲載し、希望する商店などに向けてSMS警報などを送る対策をとっている。商店はもちろん、個人宅でも日頃から予備知識を身に付け、襲われないように対策をとっておく必要がある。

スキー場、雪の事故などに要注意

気温が比較的暖かい日が続いているため、政府では山岳地方のスキー客に対して、雪崩事故などに関して特に注意する必要があると呼び掛けている。12月29日にも4人が雪崩の被害犠牲となり死亡。また、F1ドライバーのミハエル・シューマッハのようにゲレンデ外の地域でスキーをして、岩などに衝突する事故も多発しているため、なるべくゲレンデ内にとどまるように注意をすること、またヘルメットを装着することが望ましいであろう。また、ゲレンデ外で滑る場合には、雪崩被害用のアラーム装置を持参すること。

大晦日は警察官 600 人動員

2013年の大晦日から2014年の新年への夜は、ローヌ県警では600人の警察官を街中の中心街や要注意地域に動員してパトロールした為か、46件の不審尋問・身柄拘束件数は去年の倍以上となったが、特に大きな放火や投石などの騒ぎは起きず、比較的静かな大晦日となった。ちなみに、フランス全国での不審尋問・身柄拘束件数は217件とのこと。

2. 邦人の被害事例 今月は特に無し。

3.地区別 治安情報集計結果

2013年12月集計結果

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	東	西	南	北	AIN 県	Iser 県	Loir 県	合計
凶悪犯 (殺人、強盗、放火、強姦)		2				1			1	1		2				2	9
粗暴犯 (暴行、傷害、脅迫、恐喝、凶器準備集合)	3	3	2	1	1	1	2	1	1	13			1				29
窃盗犯 (侵入盗、乗り物盗、車上荒らし、ひったくり等)		4	6			2	4	2	4	5		2	1	1			31
知能犯 (詐欺、横領等)			1					1		3		1					6
その他 (賭博、売春、麻薬密売、迷惑行為等軽犯罪)	1	1	1				2	2		3	2		1		2		15
合計	4	10	10	1	1	4	8	6	6	25	2	5	3	1	2	2	90

※ 数字はプログレ紙に掲載された犯罪記事発出数で、統計的な意味はない。

グランリヨン東→Jonage, Meyzieu, Décine-Charpieu, Chassieu, Saint-Priest, Bron, Villeurbanne, Vaulx-en-Velin, Mions

グランリヨン西→Craponne, Chaponost, Francheville, Tassin, Brindas, Brignais, Ecully, Sainte-Foy-Les-Lyon

グランリヨン南→La Mulatière, Oullins, Pierre-Bénite, Saint-Genis-Laval, Givors, Vernaison, Vénissieux, Solaize, Saint-Fons, Irigny, Feyzin, Corbas, Vernaison, Charly, Grigny, Givors

グランリヨン北→Caluire, Rillieux, Sathonay, Fontaines-sur-Saône, Fontaines-St-Martin, Rochetaillée-sur Saône, Mont-D'Or, Limonest, Lissieu, Neuville, Cailloux-sur-Fontaines, Montanay, Genay

4. 今月リヨン及びローヌアルプ州で発生した事件（新聞 Le Progrès 紙より）

① 窃盗犯罪事件

12月1日午前0時45分、リヨン市第6区 Emeraudes 通りのアパートに20歳代の男3人組が侵入した。警察が駆けつけた際、犯人の2人は逃亡してしまったが、残りの1人は内部から盗んできたコンピューターなどを道路に捨てて逃げようとしていたところを逮捕された。

12月2日、11月末に自分の自転車を何者かに盗まれた女性が、インターネットの売買サイト le BonCoin 上に自分の自転車の売り広告があるのを見つけ、購入意思がある振りをして犯人に連絡した。この女性は警察にも連絡をして、待ち合わせ場所に現れた18歳の男が待ち伏せした警察に逮捕された。この若い男は罪を認め、この他にも同じようにネット上で売り捌こうとしていた自転車が別に5台もあることを白状した。

12月2日、Vénissieux 市 Joliot Curie 通りにあるホテル Formule 1 に滞在していたグルジア国籍の男4人が逮捕された。この男達の部屋の中からは、盗難品433点が発見され、その大半が宝石だった。また、その他にも施錠のプロ用品など空き巣のための道具が見つかった。

12月3日午前11時半頃、リヨン市第3区 Arménie 通り在住の90歳の女性宅に、偽の水道局職員が配管の整備のためと言い、それに続いて警察官が入り込んだが、この女性は怪しいと気づき、うまくこの男達を追い出すことに成功したとのこと。侵入後すぐに追い出されたため、犯人達は何も奪い取る時間がなかったらしい。

12月3日午後5時頃、リヨン市第3区 Charles Richard 通りと Jean Carbona 通りの個人宅アパートに空き巣に入ろうとしていた18歳と19歳の2人組の男が逮捕された。

12月4日午後7時頃、リヨン市第7区 Montebello 通りで、30分ほど前に Part-Dieu ショッピングセンター前の tram 駅で27歳の男性から盗み取った携帯電話を、通行人に売りつけようとしていた14歳の少年を含む若い男2人組が逮捕された。

12月5日午後6時頃、リヨン市第3区の Part-Dieu ショッピングセンターで女性から携帯電話を奪い取った15歳と17歳の2人の少年が、Gabriel Péri 広場で逮捕された。この2人は、この他にもリヨン市第6区の Maréchal Lyautey 広場で盗んだ携帯電話などを持っていた。

12月7日午後9時半頃、リヨン市第2区 République 通りにある銀行の、建物内にあるATM機で現金を下ろした男女が、後ろにいた3人組が怪しい行動をしていることに気づき、その直後外にでてカバンをみたところカバンが開いており、中にあったはずの下ろしたばかりの100€が消えていた。同伴の男性がすぐに3人組の1人を追いかけて捕まえたが、この20歳の男は現金を持っておらず、警察での取り調べ後釈放された。

12月7日、リヨン市第7区のアパートの住人から、入り口ドアにバール(鉄槌)でこじ開けようとした痕跡があるとして警察に通報があり、かけつけた警察が現場を調査していたところ、同じ建物の4階のバルコニーに2人の男達がぶら下がって逃げようとしているところと鉢合わせとなった。この4階のアパートの住人はこの2人を知らないと言明し、この16歳から19歳の3人の男たちはどうしてバルコニーにいたのかが説明できず、身柄拘束となった。

12月9日午前3時頃、リヨン市第3区 Lafayette 通りレアール内にあるレストラン Les garçons bouchers に不法侵入してレジの現金を盗んでいた19歳と20歳の男たちが、現行犯で逮捕された。

12月11日午後、リヨン市第2区 Victor Hugo 通りを電話で話をしながら歩いていた若い女性が、2人の子供に携帯電話を奪い取られた。女性はすぐに子供達の後を追いかけて、同時に協力して追いかけてくれた証人と子供達を押さえつけて電話を取り戻した。この子供達は、他にも同じ通りで奪い取った携帯電話を持っていたために警察が取り調べたところ、Oullins 市移民収容センターに両親と一緒に暮らすセルビア人の子供だった。

12月12日、リヨン市第3区の l'Abondance 通りに在住の82歳の女性宅に、水道局員を名乗る2人組の男が訪問し、水道配管を検査すると言って女性を騙して家の中に侵入し、800€をかすめ取っていった。

12月13日午後5時頃、Pierre Bénite 市 Muriers 通りにあるスーパーで、万引きをしていた46歳と56歳の男女カップルが逮捕された。調べたところ、この2人は約1000€相当の商品を隠し持っており、また、この2人は過去にも同じ罪を重ねる常習犯であった。

12月15日早朝5時頃、ベルクール広場地域を歩いていた男性が、3人組の男達から押されて持っていた携帯電話を奪い取られた。犯人達はそのままローヌ河方面に走って逃げて行った。そのすぐ後に、この犯人の1人で28歳の男がその盗まれた携帯電話を持っていたために警察に逮捕された。

12月15日、Villeurbanne 市 Genas 通り Brosses 地区で一軒家に空き巣が入った。日曜日の午前中留守にしていた家主が戻ってきたところ、ガレージのドアが壊されており、屋内の部屋などもあられ、金庫も破壊されていた。約10000€相当の金の宝石と、スポーツ射撃で使用する武器が3丁盗まれた。

12月15日夜中に、アン県の Saint-Cyr sur Menthon 村でクリスマス用の鶏64羽が盗まれた。被害額はおよそ6000€とのこと。

12月16日午前5時頃、リヨン市第2区 Plat 通りにある店舗に侵入して空き巣を働いた容疑で、22歳の男が逮捕された。その後の取り調べで、この男の共犯のリヨン在住の20歳の男も、男の自宅で逮捕された。

12月16日、リヨン市第4区 Croix Rousse 通りで若い女性が持っていた携帯電話を暴力的に奪い取った14歳と16歳の2人組の少年が、その後乗っていたバスの中で盗難現場を目撃した証人が犯人達をみつけて警察に通報したために逮捕された。

12月17日午前11時半頃、Caluire et Cuire 市で Maryse Bastié 通りに在住の90歳の男性宅に忍び込んで空き巣を働いた23歳のホームレスの男が、近隣在住者の通報により逮捕された。共犯のもう一人の男は逃走した。

12月18日、空き巣窃盗団の取り調べを行っていた警察が、リヨン市第8区の Professeur Beauvisage 通りで偶然怪しい車を見かけ、その車が交通違反をしたために運転手を呼び止めて尋問した。この運転手は64歳のアルバニア国籍の男で、車内には怪しいカバンがあり、警察官が男の身体検査をすると、洋服の下の背中に、イニシアル入りのプラスチックの袋を3点発見した。これらの袋の中には合計500点(重量1.35kg)にも上る金の宝飾品が入っており、これらは過去2週間ほどの間に、リヨン西部やロワール県、イゼール県などで空き巣に入って盗み出してきたものなどの事が判明。その後の取り調べで、男の自宅に在住の29歳の息子(前科有)と他に3人のアルバニア国籍の男達があり、この内の1人は、イタリア北部で窃盗を重ねて国際手配されていた男だったために、直ちに逮捕された。24日には盗難被害者の一部が窃盗品の返還を受けたとの事。

12月24日 Villeurbanne 市 Emile Zola 通りの一軒家に空き巣が入った。クリスマスの夜家主が外出先から戻ったところ、家の中にいる3人の空き巣犯人を見つけて通報した。3人組はそのまま逃走したが、家主の通報により一時間後に警察は犯人の1人を逮捕した。この男は30件以上の前科をもつ19歳の若者で、この家から盗み取った宝石や現金は持ち合わせていなかった。

12月27日、リヨン市第8区 Professeur Beauvisage 通りで駐車してある車数台から、ガソリンを手動ポンプで吸い出して盗んでいた3人の男達が、現行犯で逮捕された。

12月27日、リヨン市第9区 Sidoine Apollinaire 通りでベンツ車のアルミホイール4個を運んでいた19歳から26歳の3人組の若者が警察に呼び止められ、その出所を説明できなかったために逮捕された。過去数週間、この地区では同じような車の部品の盗難被害届が何件も出ていた。

12月29日、先月 Charbonnières 市において、刃物で脅して携帯電話を奪い取った疑いで手配されていた14歳の少年が、リヨン市第9区の Vaise 駅で逮捕された。

12月29日夜中、Villeurbanne 市 Emile Zola 通141にあるアパート建物の郵便箱がすべて破壊され、中にあった郵便物などが物色され、残りのものはすべて床に散らばっており、郵便物の中には破って中を取り出されているものもあった。バカンス中で管理会社には連絡とれず、住民たちはとりあえず警察に被害届をだしたとのこと。

12月31日午後、リヨン市第7区 Fugier 通りにある Vélo'V 自転車置き場から、自転車3台の貸出機を破壊して自転車を奪って逃げようとしていた18歳から22歳の若者グループ7人組が逮捕され、そのまま大晦日を拘置所で過ごした。

② 粗暴犯罪事件

12月2日夜、リヨン市第3区 Saxe 大通りで、リヨン市交通バスの検札官4人に対して侮辱し、殴り掛かったため、18歳の若い女2人組が逮捕されたが、後日裁判所に召集されることで釈放された。

12月3日、リヨン市第9区 La Duchère 地区で、帰宅途中の18歳の女性が何者かに刃物で脅され、持っていた携帯電話と煙草、そして現金20€を奪い盗られた。

12月3日午後7時頃、Villeurbanne市Buers地区Armand通りで、13歳と14歳の少年2人が、公告チラシ配達人に襲い掛かりカバンを奪おうとしたが、この36歳の配達人が抵抗したため、2人の少年は激しく配達人の足を蹴り上げた。逃亡する際に2人は配達人のもっていた懐中電灯を盗んだが、この2人は20分後に逮捕され、拘留された。

12月3日、リヨン市第3区のPart-Dieuショッピングセンターで、20歳の女性から暴力的に携帯電話を奪い取った14歳の少年が逮捕された。

12月5日、リヨン市第1区の中心地で、グループの喧嘩騒ぎがおこり、刃物などによる怪我人（17歳と19歳）が2人であった。被害者の話によると、煙草が原因で争いあいになったとの事。

12月5日午後7時頃、リヨン市第7区で前日に暴行を受けて盗難の被害にあい、怪我を負った26歳の男性が、この日同じ地区でその犯人を見かけたために警察に通報し、犯人達は逮捕された。

12月7日、Grigny市にあるヨーロッパ鉄道貨物運営会社EuroCargo Railの選別センター地区で放火事件が発生した。鉄道貨物車両2台に搭載されていたAlfa Romeo新車17台が破壊されたうえ、その他にも13台の車が、車体にいたずら書きや引っ掻き跡、バックミラーや窓ガラスなどが壊されるなどの被害をうけた。

12月7日午後、Villeurbanne市内のクリニック病院に家族の見舞いに訪れた46歳の男が、治療方法に不満があるとして医者突き飛ばし、看護師に対して侮辱の言葉を吐いて暴れたために病院が警察に通報し逮捕された。

12月8日早朝、Villeurbanne市内のホームレスのための宿泊施設に入れなかったことを不満に思った47歳の男が、ハウス内部の家具やコンピューターを破壊したために逮捕された。

12月8日、リヨン市第1区Edouard Herriot通りで警察の身元確認に対して反抗した24歳の浮浪者が、身柄拘束された際に拘置所を破損し、警察官数にも暴力をふるった。

12月10日、リヨン市第3区のPart-Dieu駅で、24歳の男がカーターナイフで15歳の少女を脅してカバンを奪おうとしているところ、現行犯で警察に逮捕された。

12月11日、Villeurbanne市在住の若い夫婦が喧嘩をし、28歳の夫が妻の髪の毛を引っ張って地面に投げつけて暴行したため、20歳の妻は防衛するために刃物を夫に対して投げ、それが夫の大腿部にささり動脈切創の大出血を負った。

12月12日、Villeurbanne市Francis de Pressensé通りにあるコインランドリーのドアを壊して侵入した27歳のホームレスの男を、駆けつけた警察が取り締まろうとしたところ、この男はドライバーで警察を脅迫し、警察官の1人に怪我をさせたため逮捕された。

12月14日夜、リヨン市第1区Raoul-Dufy広場で手作り煙草を喫煙していた15歳と16歳の少年達を市警察がコントロールしたところ反抗し、その一人が警察官を殴ったために、身柄拘束となった。

12月17日、リヨン市第7区Yves-Farges大通りのアパートに在住の2人の男性が激しい口論をし、この闘争中に1人の男性がもう1人の男性の背中に刃物を刺して怪我を負わせた。

12月17日午後11時近く、リヨン市第7区 Yves-Farges 大通りで交通検問に従うことを拒んだ男が、スクーターに乗ったまま突っ込み警察官に怪我を負わせた、スクーターを運転する18歳の男は、その後転倒し逮捕されたが、この時も暴力的に反抗して警察官を殴ろうとした。

12月20日真夜中、Saint Priest 市内で交通検問が行われていた際に、警察の指示に従わずに逃亡した車が、その後警察の車数台に追跡されたままりヨンの環状線を走り、その後再度 Saint Priest 市内にもどってきたところ、他に駆けつけた警察の車に囲まれた。それでもまだ逃亡しようと抵抗した25歳のホームレスの男は、前後に強く車を発進させて警察の車をすりぬけようとしたが、警察官が拳銃でタイヤをパンクさせて御用となった。このあとの取り調べで、この車は盗難車で偽のナンバープレートがつけてあったことが判明。同車していたもう1人の男は同じく反抗したため逮捕、もう1人の同乗者は未成年だったため釈放された。

12月21日真夜中、リヨン市第2区 Archers 通りを Vélo'V 自転車に乗って帰宅しようとしていた若い男性が、突然3人組の男達に囲まれ、最初は煙草をもっていないか聞かれたものの、ないと断ったために、男達にドライバーで脅され、自転車をうばいとられた。被害者の男性が犯人の後をつけ、自分で警察に通報したために、この犯人の19歳の男はその数十分後に逮捕されたが、その他の2人の若者は逃亡した。

12月25日夜、Villeurbanne 市在住の41歳の男が、同居女性への暴力のために逮捕された。口論のあと火のついた煙草を女性の顔に押し付け、床に殴り倒して足で何度も蹴り上げた。

12月25日、Villeurbanne 市在住の56歳の男が妻への度重なる暴力のために逮捕された。この男は20日にも35歳の妻と4人の子供達を殴ったために被害届が出されていたが、今回また同じことを繰り返して逮捕された。

12月27日、リヨン市第8区 Etats-Unis 通りで、警察官がヘルメットなしで盗難スクーターを運転していた若者を尋問のために止めようとしたところ、スクーターは止まることを拒絶して走り続け、警察官は引っ張られて10メートルほど引き摺られ、電柱に顔をぶつけて鼻と耳の部分の骨折の怪我を負った。運転していた若者はそのまま逃亡したため、現在取り調べが続いている。

12月28日午後9時半頃、Meyzieu 市 Grand Large 湖畔で車に乗った4人組の男達から声をかけられたカップルがその男達と激しい口論になり、カップルの男性だけがその場から逃げ、女性は近くのトラム駅に取り残された。その後はっきりした理由はわからないが、午後11時頃に Meyzieu 市のロータリーで逃げた男性の友人男性が、この4人組から車の中で暴行を受けているところを警察が見つけて尋問した。口論や暴行の理由などがはっきりしないため、現在調査中。

12月29日午後9時頃、Villeurbanne 市 Léon-Blum 通りにあるガソリンスタンドで、客と意見の食い違いのために言い争いとなったため店員が警察に通報したところ、それを目撃したもうひとりの客の男が会話に口を挟み、その後自分のスクーターから斧をもってスタンドに舞い戻って店員を脅迫した。駆けつけた警察が2人の男達をおさえ、暴行罪で逮捕した。

③ 凶悪犯罪事件

12月8日午前1時頃、リヨン市内で22歳の女性に性的暴行をはたらいた24歳のホームレスの男が、街に設置された監視カメラの録画映像の分析により逮捕された。この男は、女性の顔を殴って、全治15日の怪我也を負わせた。

12月9日午前8時半頃、リヨン市第9区 Duchère 地区にあるスーパーSimply market 店に覆面をした3人組の強盗が押し入り、銃と催涙ガスを使って従業員を脅し、数千ユーロの現金を奪い取って逃亡した。

12月13日朝8時頃、リヨン市第6区 Vitton 通りにあるカフェレストランの経営者男性が店の前に駐車していたところ、何者かが横を通った車の中から男性に向かって小さな銃を発砲し、男性は膝に負傷した。現在のところ、恨みの復讐の線で調査されている。

12月14日朝、イゼール県 Grenoble 市から50キロの小さな町 La Mure で、89歳の男性が自宅で殺害されているのが発見された。電話に出ないので心配した近所の住人が警察に通報したために発見された。この男性は比較的裕福だったが見た目は普通で、また日ごろから警戒心が強く、誰にでもドアを開けることはしない人だったとのこと。自宅には、侵入のために破壊した痕跡などがないために、被害者の顔見知りの犯行の可能性もあるとのこと調査中。被害者は縛られて殴られた様子。

12月17日午前10時40分頃、リヨン市第6区 Foch 大通りにある宝石店に4人組強盗が入った。1人は店外に残って小銃を持って監視し、残りの3人は前の道でバスを待っていた若い女性を人質にとって宝石店のドアを開けさせて侵入した。店内では経営者を棒でなぐって、店内にある宝石や現金をすべて奪い取り、5分もしないうちに車にのって逃亡した。この車は数分後に Villeurbanne 市 Feysine 地区に乗り捨ててあるのが発見された。

12月23日午前8時頃、ロワール県 St Etienne 市 Terrenoire 地区にある Caisse d'Epargne 銀行に普通車タイプの現金輸送車で業務を行っていた業者の職員が、ATM機に現金を入れるために機械室に入ったところ、何者かが、その外からドアにテープを張りドアを爆破させ、係員の持っていた現金のはいった鞆を奪い取って車で逃亡した。その車は数分後に現場の近くで炎上しているのが発見された。現金輸送の係員は頭部などに重傷を負いすぐに病院に運ばれた。ロワール県では今年でこれが8件目のATM機爆破事件であるが、今までは無人のATM機の襲撃ばかりであったため、被害者が出たのは今回初めてである。

12月26日午前6時半頃、Villeurbanne 市 Péliisson 通りにある瀟洒な一軒家に強盗が入った。この家主はリヨン地区でも評判の良いマルシェ専門の精肉店の経営者で、この男性が朝仕事に出かけるために門扉を開けたところを4人組の覆面をした強盗に襲撃された。犯人達は侵入したあと、男性の妻や3人の子供など家族を縛り、一部屋に閉じ込めた。17歳の娘だけがこれを逃れたために警察に通報し、父親が強盗に暴力を振るわれていると知らせ、すぐに警察が現場に駆け付けた。その間、男性は脅迫されて現金8万ユーロと宝石などを奪い取られていた。犯人の1人が外に出てきたところ、駆けつけた警察を見かけたために逃走し、警察に向かって発砲したあと姿を消した。幸い怪我人などはなかったが、この騒ぎの間に他の犯人達も逃走し、その地区には取締検問が敷かれ、逃亡犯人が隠れていそうな建物やアパートなども取り調べられたが、結局犯人全員が逃亡してしまい、行方が分かっていない。

12月29日、ロワール県 St Etienne 市の Furan 川沿いの工場跡で、男性の死体が発見された。その後の警察の調査によると、この遺体は数日前からそこにあったようだが、モロッコから大麻樹脂を搬送していた2人の男性が輸送中に言い争いとなり、その後1人の男性がもう1人の男を監禁し、最終的に殺して遺体を遺棄していたことが判明した。

12月30日午前1時半頃、Villeurbanne市Jule Vallès通りにある保険会社の事務所前にガソリンをまいて火をつけようとしていた25歳の若い男が、建物の住民の通報により警察に逮捕された。この男は同じ通りのアパートに居住しており、この保険会社から1万ユーロの借金をしているものの返済できる見込みのないために絶望して火をつけようとしていたとのこと。

④ 知能犯罪事件

12月3日、リヨン市第8区にある電化製品店で、偽造書類を持参して2000€の支払いのローンを組み、店を騙して商品を持ち去ろうとした17歳の男が逮捕された。

12月4日、5月にReims市で盗まれたBMW車に乗っていた男女がVilleurbanne市で逮捕された。この車は、2011年にGrenoble市で盗まれた小切手を使用して支払われており、この2人は偽の証明書などを作成するための資料文書が保存してあるUSBキーを所持していた。

12月5日、昨年9月から個人宅の郵便受けの中から小切手帳を盗み出し、それに合わせた偽造の身分証明書を作成して、SNCF国鉄や街中の商店などで利用し、被害額約33414€相当を騙しとっていた44歳のリヨン在住の男が逮捕された。

12月8日、ネット上の出会い系サイトで知り合った複数の女性に対して、警察官だと偽ってお金を脅しとっていたSaint-Fons市在住の34歳の男が逮捕された。

12月30日、リヨン市ペラッシュ駅に向かう鉄道の中で、切符の検査員が検査をした21歳の男が、偽物の身分証明書やクレジットカードなどの偽造文書を所持していたために、その後警察が自宅調査をしたところ、自宅からも偽造書類や小切手帳が見つかったために逮捕された。

⑤ その他

12月3日、Villeurbanne市4 août通りでごみコンテナーに放火した疑いのある15歳の少年ともう1人の男が逮捕された。

12月7日、イゼール県Auberives-sur-Varèse市近くの高速道路A7線上を走行していた車が、税関検査官に止められた。この車を運転していたのは警察に顔を知られた60歳のマルセイユ在住の男で、車のトランクの中には大麻を137キロ積んでいたため、すぐに警察に引き渡された。

12月9日、リヨン市第8区Mermoz地区で、大麻や大麻樹脂などの密売ネットワークをマークして数か月にわたって調査していた警察が、一斉大検挙を行い、16歳から20歳の若者10人が逮捕され身柄拘束となった。この密売網は3カ月で大麻樹脂20キロを売って80000€を稼いでいたとのこと。

12月11日真夜中、交通検問から逃亡しようとした23歳と24歳の若者2人組がリヨン第3区で逮捕された。取り調べたところ、2人はアルコール血中濃度が許容量の3倍を超えており、また大麻を所持していた。

12月12日、リヨン市第7区のGabriel-Peri広場で大麻の密売をしていた疑いのある17歳の少年が逮捕された。この少年は、大麻樹脂と乾燥大麻、そして大金を持っていたために、身柄拘束となった。

12月14日夜中、リヨン市第2区の Ainay 地区で5か所のごみ箱に放火していた3人組の若者たちが、そのあと、路上に捨ててあったマットレスに火をつけようとしていたところを、現行犯で警察に逮捕された。

12月15日、リヨン市地下鉄A線の Hôtel de Ville 駅で何者かがアラーム警報を鳴らしたために、午後10時13分から午後11時15分までの間、A線の地下鉄は不通となり、閉じ込められた約80人の乗客が避難することとなった。

12月16日、Oullins 市のスーパーの客に痴漢行為を働いた Villeurbanne 在住の男が逮捕された。この男は、なんと同様の195件の前科を持つ男だった。

12月16日、Bron 市の St Exupéry 大通りで覚醒剤を密売していた27歳のアルバニア国籍の男が逮捕された。逮捕された際にこの男は、ヘロイン35グラムと現金1800€を持っており、その後の調査によると、過去1か月でヘロイン5g入りの小袋を200以上売り捌いていたとのこと。一袋の値段はおよそ40から60€で取引されているらしい。

12月16日頃、ベルギー国籍の偽身分証明書や給与明細、電気料金請求書などを使用してリヨン地域のクレジット会社数社において、クレジット（借金）口座を開き、約6000€の金額を半月の間に騙し取っていた詐欺組織が、警察に一斉逮捕された。

12月19日、Oullins 市在住の43歳の男が、3年前にネット上で知り合った2人の未成年少女と関係をもっていたために検察に引き渡された。この男は少女が12歳の時にネット上で知り合い、少女が15歳になってから本人の同意を得たうえ性的関係を持っていた。今回この男が、この少女の他にもネット上で16歳の少女にコンタクトを取り、ネットで性的な会話やテレビ画像電話のやり取りをしたところ、不安に思い始めた少女が両親に相談したために事件が明らかになった。

12月31日午後6時半頃、リヨン市第9区の St Cyr 通りをスクーターに乗って走っていた64歳の男の様子がおかしかったために、通りかかった警官が尋問したところ、この男は1.4mgのアルコール度で泥酔状態だったため、直ちに身柄拘束となった。

⑥ テロなどに関する一般治安情報

特になし

5. 今月の出来事

新しい橋 Passerelle de la Paix が、Cité internationale と Caluire がをつなぐ。

12月13日に、霧の中この新しい橋の設置工事が始まった。この橋は、歩行者と自転車だけの通行が可能で、2月中旬には工事が完成する予定。Caluire 市とリヨン市第6区の Cité Internationale 地区がつながり、Croix-Rousse 第二トンネル（歩行者、自転車、市バスのみ）の開通もあり、テットドール公園へのアクセスや St Clair 地区のレストラン街へのアクセスなど、リヨン市民にとって市内での環境に優しい移動がより便利になる。

フランス全国、リヨン近郊でも長期的に大気汚染

冬には風がなく大気が澱んで、薪ストーブ暖房や排気ガスの微粒子が空中に残り、呼吸困難などの原因となりやすいが、今年は12月3日に大気汚染注意警報が発せられてから2週間以上続いた。このような注意警報が出ている時には、必要以上に外部にいないこと、また外出する際にも呼吸の負担になるような運動はさけるようにした。また、車の運転についても、速度70キロ以上で走る道路では速度を20キロ落とすように指示されている。

Guillotière 地区で火事

12月15日午後8時頃、リヨン市第7区の Gabriel-Péri 広場の建物内のアパートから出火し、数か所の消防隊と警察がかけつけて、近隣住民を避難させた。原因は分かっていないが、約30人が避難し、住人の数人は煙を吸ったために軽い中毒症状となった。この建物の前を通るトラムT1線もこの火災の間、不通となった。